

千葉大学病院にて子宮腺筋症合併妊娠の治療を受けられた患者の皆様へ

2024年1月4日

産科・婦人科

産科・婦人科では、子宮腺筋症をもって妊娠された方、子宮腺筋症の手術を受けた後に妊娠された方の妊娠経過の調査を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月1日～2023年11月30日の間に当科で子宮腺筋症を合併、もしくは子宮腺筋症切除手術後に妊娠された方

1. 研究課題名

「当科における子宮腺筋症合併妊娠・子宮腺筋症切除術後妊娠に対する周産期予後の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

子宮腺筋症を持ったまま妊娠すると妊娠中の胎盤の位置異常、帝王切開になる確率の増加などが起こることが知られています。また子宮腺筋症の切除手術を受けた後で妊娠すると、妊娠中の子宮破裂のリスクがあります。しかしながら、実際にどの程度のリスクがあるかは施設によって報告が様々で一定ではありません。この研究は、当科で子宮腺筋症合併妊娠、または子宮腺筋症手術後に妊娠された方の妊娠中の経過、分娩時の異常の有無を解析し、今後の治療に役立てることを目的とします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

当科で子宮腺筋症合併妊娠あるいは子宮腺筋症手術後の妊娠の管理を行った患者様の診療記録より、以下の情報を調べて、研究に用います。

患者年齢、妊娠分娩歴、子宮腺筋症診断方法、子宮腺筋症に対する治療歴・手術歴、当科紹介のきっかけ、妊娠中の合併症、切迫流早産、流早産、切迫子宮破裂、胎盤位置異常、胎位異常、常位胎盤早期剥離、前置胎盤の有無、帝王切開の有無、分娩時出血量、分娩時の合併症、児の出生時の状況、妊娠経過中のその他の異常

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長

研究責任者 産科・婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学研究院産婦人科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院産科・婦人科 教授 甲賀かをり
043 (222) 7171 内線 6894